

- 地域経済の好循環拡大 = ヒト・モノ・カネ・情報の流れの相乗効果により推進。
→ 経済好循環創出のカギは「ヒト」。その際、ICTの活用が切り札。
- 更なる好循環拡大に向け、地域への「ヒト・情報」の流れを創出する「チャレンジ・ふるさとワーク」を新たに立ち上げ。
→ 一億総活躍社会の実現に寄与し、ローカル・アベノミクスを強力に推進。

平成28年度補正予算で実施する事業

①ふるさとワーキングホリデー（要求額4.4億円）

都市部の若者(大学生等)などが一定期間地方に滞在し、働きながら地域住民との交流などを通して田舎暮らしを学ぶことを支援し、地域経済を下支えするとともに、将来的な地方移住を掘り起こし。

②お試しサテライトオフィス（要求額3.3億円）

都市部のベンチャー企業等にとって真に魅力的な環境を完備した「サテライトオフィス」を提供するため、企業ニーズの徹底的な分析、誘致戦略等の策定を支援し、地域でのお試し勤務を通じるなどして、企業立地を促進。

③“地域の人事部”戦略策定事業（要求額1億円）

地域における人材の総活躍を促し、地域活力の維持・向上を図るため、地域人材の育成・活用のあり方についての戦略策定に取り組む地方公共団体を支援。

④次世代コラボ創業支援事業(要求額1.3億円)

地域の将来を担う若者のアイデアを活用した創業を支援し、産・学・金・官の連携により、各地方公共団体が将来に富を生み出す仕組みづくりにつなげるとともに、地域雇用の創出および次世代の地域定着を促進。

③ “地域の人事部” 戦略策定事業

H28補正要求 1億円

- 地域における人材の総活躍を促し、地域活力の維持・向上を図るため、育児等で離職するなどした人材も含め、幅広く地域人材のスキルやバックグラウンド等に関する情報を集約・把握し、HRテック(Human Resource Technology)を活用するなどした地域人材の育成・活用のあり方についての戦略策定に取り組む地方公共団体を支援。

地域人材情報の把握

幅広く地域人材のスキルやバックグラウンド等に関する情報を集約・把握

HRテックなどを用いた地域人材の育成・活用のあり方についての戦略策定

戦略実現に向けた具体的なアクション

- 地域における人材の総活躍
- 地域活力の維持・向上

※ HRテック
(Human Resource Technology)
人事労務の領域にクラウドや人工知能(AI)など新しい技術を融合した付加価値の高いサービス。採用や適材適所、リーダー育成、評価、給与、業務改善など幅広い分野で展開。



具体的なアクションイメージ



A市を一つの会社と考え、登録企業がそれぞれの事業部、コーディネーターが人事部として、地域人材の育成を強化。